

# しずくしい 議会だより

今号の主な内容

議長就任あいさつ...2

6月定例議会のあらまし...2~4

委員会レポート...6~9

町の考えを問う

**一般質問** 7議員が登壇...10~16

議員クローズアップ...17

皆さんからのご意見/ふるさとへの便り...18~19

平成19年7月26日発行

発行 / 雫石町議会

〒020-0595 岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1

電話 019-692-2111 ファックス 019-692-2828

ホームページアドレス <http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>

編集 / 議会広報編集特別委員会



No.62

# 定例会のあらまし



## 議長就任のごあいさつ

町議会議長 平子 忠雄

このたび、改選後の初議会において議長に選出され、身に余る光栄に存じます。

国の三位一体改革などにより国からの補助金等が削減されるなか、町独自の施策が重要になってきています。町議会は、町民の意思を町政に反映させるための大切な機関として議員一同精一杯議会活動に取り組む所存であります。

しかるに、皆様ご承知のとおり、このたびの同僚議員の公職選挙法に係る不祥事につきましては、多くの町民に驚きと失望の念を抱かせるとともに、議会としての品位を大きく傷つけ、まことに遺憾であり、慙愧に堪えません。

今、雫石町では新たなまちづくり、「キラリ輝くしずくいし」実現に向けて、町民一丸となって取り組んでいる最中であり、議会とし

ても志を同じくし、町民の期待にこたえるべく誠心誠意努めていこうとしているところであります。

今回の事件を真剣に受け止め、議会人としての品位、品格を守り、これまで以上にそれぞれの議員が襟を正し、住民福祉の向上と明るく豊かなまちづくりのため、率先し努力してまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

# 自然と共生したまちづくりを明確に 環境基本条例を新たに制定

6月定例会は、6月8日から14日までの7日間の会期で開かれました。初日は環境問題について、積極的に取り組むことを理念とした雫石町環境基本条例の制定など11議案が上程され、提案理由の説明がありました。

一般質問は2日間にわたり7人が登壇し、17項目について質議が交わされました。

なお、8日は、上小林浩副議長の辞職に伴う副議長の選挙が行われ、煙山惣右衛門議員が新しく副議長に就任しました。

また、最終日には人事同意案件7件の追加提案があり、各議案とも原案どおり可決しました。

## 一般会計補正予算

補正前の額	補正額	計
78億9,000万円	5,857万2千円	79億4,857万2千円

### 補正予算の主なもの

▶ 農業指導センター費	75万円
▶ 畜産振興費	277万1千円
▶ 農地費(農地、水、環境保全向上対策費)	343万8千円
▶ 植生保護設備工事費	97万8千円
▶ 町民芸術鑑賞事業委託料	480万円
▶ 東京芸術大学合宿招聘事業委託料	300万円



## 公職選挙法にかかる不祥事事件について

雫石町議会は、行政の主役である町民の声を町政に反映させる代弁者であることを肝に銘じ、知恵を絞り、汗を流し、全力を傾注することを使命として取り組んでおります。

そのような中で、今回の同僚議員による公職選挙法にかかる不祥事が起きたことは、誠に痛恨の極みであります。

今春、議員の改選が行われ、本来であれば、新しい体制の中で町民の意見を聴き、より一層耳を傾けなければならない重要な時期に、今回このような不祥事が起きたことは、これまで本議会が築いてきた町民皆様との

信頼関係を失墜させただけでなく、本町に対する印象を大きく失望させたものと深刻に受け止めております。これらの道義的責任を感じるとともに、町民の皆様には心から遺憾の意を表明するものであります。

事件発覚後、このことについては、本議会で再三にわたり協議検討を重ねてまいりました。しかしながら、現在事件は司法の場で審理中でありますので、議会としてもその行方を見ながら今後とも対応してまいり所存であります。その判決によっては、当事者の厳正なる判断を求めます。

このような経過を踏まえ、こうした不祥事を二度と起こさないため、我々議員ひとりひとりがいま一度、議会人としての自戒と自律に努めるとともに、その根絶に全議員心を一つにし、議会の信頼回復に全力をあげて取り組んでまいる決意であります。

何とぞ、皆さまのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年 7 月13日

雫石町議会議員一同

### 条例

雫石町環境基本条例の制定

将来にわたって町民が自然と共生し、健康で文化的な生活を営むことのできる環境を確保するべく、条例を制定しようとするものです。(詳しくはP4を併せてご覧ください)

雫石町乳幼児妊産婦および重度心身障害者医療費給付条例の一部改正

障害の級別を「1級、2級または3級」から「1級または2級」に改められます。

雫石町母子家庭医療費給付条例の一部改正

受給者の前年の所得が、一定の所得を超えた場合は、受給者から除かれることとなります。

雫石町地域包括支援センター運営協議会設置条例の一部改正

委員を9名から12名に、任期を2年から3年に改められます。

### 同意

御明神財産区管理委員7名の選任に関し同意しました。

選任された御明神財産区管理委員(敬称略)

氏名	年齢	住所
上川原 弘	71歳	下春木場行政区在住
赤 沢 修	63歳	天川行政区在住
中 村 一 民	59歳	中島行政区在住
小志戸前 昭夫	67歳	小赤沢行政区在住
金 戸 正 志	65歳	和野行政区在住
小 坂 英 美	60歳	天瀬行政区在住
岩 持 継 昭	57歳	岩持行政区在住

### 第3回議会臨時会

今春行われた町議会議員選挙で当選した20人の議員による最初の議会（初議会）が5月11日開かれ、新しい議会の体制が決まりました。

初議会では、正副議長の選挙や、委員会の構成、専決処分の承認、さらには、安庭小学校校舎改築工事に係る請負契約と議会議員選出の監査委員の選任について審議し、いずれも原案どおり決定しました。

町税条例の一部を改正する専決処分

地方税法の改正に伴い、町民税の納税義務者に法人税割額を追加。国保税基礎課税額を53万円を56万円に改めることなどが主なものです。

一般会計補正予算の専決処分

補正前の額	補正額	補正後の額
86億7,173万9千円	1,354万6千円	86億8,528万5千円

安庭小学校校舎改築（建設）工事

工事名		契約金額	請負者
安庭小学校 改築工事	建設	3億3,894万円	東野建設工業株式会社
	電気設備	1億4,185万5千円	株式会社興和電設
	機械設備	5,014万8千円	株式会社盛福水道工業

雫石町監査委員の選任について

議会選出の監査委員として、坂下栄一氏が選出されました。



校舎改築が進む安庭小学校の工事現場

### 解説

## ここが知りたい

### ～新しく制定された町環境基本条例とは～

今日の環境問題に的確に対処するため、町と事業者と町民との協働による理念のもとに、多面的な施策を展開する必要があります。

このことから、国の環境基本法と県の環境の保全及び創造に関する基本条例を受けて、このたび町の環境基本条例が全議員の賛成により制定されました。

本条例は前文を備え、第1条から第30条までと附則からなるものです。

6カ月の周知期間を経て、平成20年1月1日から実施されます。

議員からは、第12条（環境影響評価の推進）関係と第16条（不法投棄及び野外焼却の防止）関係の質議が多く交わされました。

開発する事業はすべて環境には何らかの影響を与えるものでありますが、国の法律、あるいは県の条例で環境影響評価が必要なものは環境アセスメントを着実に実行してもらいます。

事業者と町が結ぶ公害防止協定や環境保全協定の具体的な規定は、審議会を十分に機能させて環境基本計画に盛り込まれます。

空き缶のポイ捨ては、町外からの滞在者にも町民に準じてもらいますし、不法投棄は防止の啓発を図りながら、監視が強化されます。

ものによっては県よりも、もっと技術的なものを定めて町独自のことも環境基本計画に盛り込む予定になっています。

野外焼却は最低限、県の条例等について守っていかねばなりません、一部に守られていないことから、改めてこの条項を設けて規則等でさらに具体的な内容が盛り込まれます。

県条例でも、畦畔の野焼きや家で剪定した枝は、<sup>せんてい</sup>禁止事項から特別な扱いということで、許されており、町でも禁止する考えはないようです。

# 広域選出議員紹介

議員改選後の初議会（5月11日開催）において、広域選出の議会議員が指名推薦により選ばれました。今回は、広域での一部事務組合はどのような仕事をしているのかその内容と本議会から選出された議員を紹介します。

## 盛岡地区広域行政事務組合

村田厚生議員  
（大村行政区在住・59歳）



### 目的

盛岡地区広域市町村圏の振興整備に必要な調査研究、計画などを、関係市町村と連絡調整を図りながら、広域的に事務を進めています。また、区域内の消防に関する事務を行っています。

### 組織

盛岡市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町の2市5町1村で組織され、関係市町村長と議会議員1名からなり、本町議会からは村田厚生議員が選出されました。

### 経緯と現況

昭和45年10月、盛岡地区広域行政事務組合が設立され、本町に関しては、46年8月にポンプ車1台47年1月に救急車1台が配備となり、雫石分署が開署しています。その後、平成5年5月には防災拠点として中央公民館隣に移転し、現在では、水槽付きポンプ車1台、高規格救急車1台などのほか、消防職員21名が、町の消防防災の拠点として活動しています。

## 盛岡地区衛生処理組合

煙山惣右衛門議員  
（鶯宿行政区在住・62歳）



杉田和正議員  
（五区行政区在住・58歳）



### 目的

盛岡市、雫石町、滝沢村の3市町村が、し尿の処理施設の維持管理並びに処理等に関する事を、共同で行っています。

### 組織

構成員は関係市町村長等と議会議員からなり、本町議会からは煙山惣右衛門議員と杉田和正議員が選出されました。

### 経緯と現況

昭和46年3市町村で設立した盛岡地区衛生処理事務組合のし尿処理施設が完成し、し尿の衛生的処理が開始されました。その後、年々増大する処理量から、平成17年11月滝沢村の処理センターを増設し、盛岡汚泥再生処理センターとして処理能力1日当たり170klの処理施設が完成し、衛生的で近代的な処理を行っています。

## 新たな議会の体制決まる

平成19年5月11日開催された臨時議会において、委員会構成が決まりました。各委員会が行う所管事務の内容や6月定例会に開催した委員会の活動などをご紹介します。

### 議会運営委員会



#### 委員会の抱負

議会運営委員会では、主に議長から諮問された事項と各議会ごとの運営について協議します。議会に提出される議案の取り扱いについては、本会議で即決するか委員会へ付託するかを諮って協議したり、町民や各団体などから提出された請願や陳情についても同様に協議します。また、会議の日程や一般質問者の登壇順をくじで決定します。

議会の運営方法は、各町村によってさまざま、これまでの先例などによっても違いがあります。しかし、基本的には、議員間の信頼と公正なルールを堅持し、発言の場を保障しながら、お互いに義務を果たせるよう、よりよい議会をつくることです。

時には、議論が伯仲し仲裁の必要があることも考えられますが、これもまた、当委員会の大切な仕事の一つです。そのためには、公平で公正な運営を常に心がけ、「言論の府」としての議会が、いかに自由に議論の場をつくり上げていくかが大切と考えています。

#### 議会運営委員の紹介

##### 5月11日撮影（写真左から）

猿子 恵久 委員  
坊屋 鋪 俊一 委員  
横 欠 君 夫 副委員長  
伊 藤 哲 夫 委員長  
平 子 忠 雄 議長（オブザーバー）  
前 田 隆 雄 委員  
大 村 昭 東 委員  
煙 山 惣右衛門 委員

#### 議会運営委員会とは……

議会運営委員会は、任意の機関として運営されてきましたが、平成3年の地方自治法一部改正によって法的に認められ設置されました。この規定では、議会の運営に関する事項、会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項等について調査を行い、議案、請願等を審査することになっています。

本町では、総務から3名、教育民生と産業建設からは2名ずつとし、7名で構成しています。



## 総務常任委員会



### 委員会の抱負

総務常任委員会の所管事務は、税財政、財産、給与などに関する事、出納に関する事、他の委員会に属しない事項などとなっています。

当委員会では、所管事務について、本会議の予備調査の機関として、また、予想される議案の下調べの機関として議会に適切な判断材料の提供ができるよう活動していきます。

### 活動報告

平成19年6月11日、総務常任委員会として、所管事務調査として、

- 1 八区消防屯所予定地の現地調査
- 2 しずくいし山葵苑<sup>わさびえん</sup>の栽培状況の現地調査
- 3 総務所管に係る関係課の重点事業等について事務調査
- 4 閉会中の継続調査などを協議しました。

#### 1 八区（長山）消防屯所予定地現地調査

総務課担当者からの説明を現地で受けながら、調査を行います。現在の屯所の奥に用地を取得、建設予定であり、八区公民館と併合した建築物です。整地も完了し、着工できる現状です。今後八区行政区と町との経費負担割合等の話し合いが、スムーズに取決めされることを望む声が各委員よりあり、具体的な内容、結果を見守って行くことにしました。

### 総務常任委員の紹介

5月11日撮影（写真左から）

川 口 一 男 委員  
 杉 田 和 正 委員  
 伊 藤 哲 夫 委員  
 大 村 昭 東 委員長  
 田 中 栄 一 副委員長  
 石 山 仁 委員  
 煙 山 惣右衛門 委員

#### 2 しずくいし山葵苑の栽培状況現地調査

栽培状況を、株式会社しずくいし・山本浩<sup>みつく</sup>社長から、現地説明を受けました。

計画よりリサイクル（育苗 成育 出荷）のズレがあり遅れてはいますが、採算がとれるようになるには、平成20年度になるとのことでした。出荷先および地元ユーザーとの価格において、大きな変動がなければ計画達成出来るものと思われます。

#### 3 総務所管に係る関係課の重点事業等について事務調査

各課の今年度重点事業について説明を受けました。

#### 4 閉会中の継続調査について

自主自立に向けたまちづくり、およびまちづくり基本条例について、調査に相当の時間を要するため、継続調査とすることで一致。今後閉会中も調査活動を行います。

## 教育民生常任委員会



### 委員会の抱負

少子高齢化の急激な進展、首都圏への人口の流出による人口減少などが下記のようなさまざまな課題を提起しております。

1. 子育て、福祉施策の充実
2. 地域医療のあり方
3. 少子化に伴う小学校の適正配置
4. 環境保全、教育、その他

これらは当常任委員会に関わるもので、皆さんの日常生活に密接に関係の深いものばかりです。

この地に「住んでいて良かった、移り住んで良かった、これからもずっと住み続けたい」と思えるよう、また明るく健康に生活できるようなまちづくりの推進をまいります。

さらに、当町は、秀峰岩手山をはじめとする山々の懐に抱かれ、豊かな自然に恵まれており、この中で動植物のいのちの循環を大切にし、100年後の子供たちが豊かな心で雫石の自然を享受できるように行動して、全国に模範となるような、自然環境保護、福祉と教育、スポーツの振興のまちを目指したいと思います。

この地をふるさととして誇りと愛着を持って住み続けるため、また地域活性化のために、これらの課題を解決すべく住民、事業者、行政の相互理解と協働のもとに当常任委員会の情熱と愛情を持って活動を進めてまいります。

### 教育民生常任委員の紹介

5月11日撮影（写真左から）

- |    |     |      |
|----|-----|------|
| 加藤 | 眞純  | 委員   |
| 前田 | 隆雄  | 委員   |
| 横欠 | 君夫  | 委員長  |
| 上野 | 三四二 | 副委員長 |
| 坂下 | 栄一  | 委員   |
| 谷地 | 善和  | 委員   |

### 活動報告

1. 平成19年6月11日、閉会中の継続審査及び調査事件
  - (1) 審査中の事件：後期高齢者の命と健康を守るため後期高齢者医療制度の充実を求める請願
  - (2) 調査事件：少子化における学校教育のあり方医療施設の充実
2. 研修及び調査を実施（平成19年6月27～29日）
  - (1) 東白川村国保病院の診療所化について  
岐阜県東白川村
  - (2) 環境政策全般について  
長野県飯田市
  - (3) 小学校の適正配置について  
長野県信濃町



## 産業建設常任委員会



### 委員会の抱負

当委員会は、産業と建設（農林課、商工観光課、地域整備課、上下水道課、農業委員会）に関する事務を所管する委員会です。

当委員会には、当町の産業の振興と道路、上・下水道、街路灯・交通安全施設、公園などの生活を支える基盤の整備をいかに図っていくかという大きなテーマが課せられております。

当町の豊かな自然や資源を活かした農林業、商工業、観光の振興を図り、雇用の拡大や所得の向上、さらにはより良い生活基盤の整備を目指し、積極的な委員会活動をしてまいりたいと考えております。

しかし、昨今の地方自治を取り巻く環境は、地方財政の悪化などにより、一段と厳しい状況にありますので、これらの実現には、数多くの努力とさまざまな工夫が不可欠な時代となっております。

まず、各委員が自ら研さんを積みながら、委員会としての調査・研究を深め、多くの関係者との率直な意見交換をし、委員会としての的確な意見・提言ができるように努めてまいります。

これから2年間、大きな課題ではありますが、町民の皆様への期待にこたえられるように頑張りたいと考えておりますので、町民各位のご指導のほどよろしくお願いいたします。

### 活動報告

産業建設常任委員会（坊屋鋪俊一委員長）は、6月11

### 産業建設常任委員の紹介

#### 5月11日撮影（写真左から）

杉 澤 敏 明 委員
石 亀 貢 委員
坊屋鋪 俊 一 委員長
猿 子 恵 久 副委員長
上小林 浩 委員
村 田 厚 生 委員

日アグリリサイクルセンターの状況についてと(有)川井林業の木材加工工場建設の状況について所管事務調査をしました。

アグリリサイクルセンターの平成16年11月から19年3月までの間の計画対比の状況は、利用農家数57.7%、処理量39.9%、販売量40.7%、販売額40.1%であるとの説明がなされました。

工場建設の状況は、予定地に希少植物が発見されたことから、希少植物の植生場所を保全地として残すため工場棟の建設位置を予定地の南側から北側に変更し、年内の操業開始を目指し、工事が進められているとの説明がなされました。この変更に伴い、施設規模、事業内容も変更され、雇用予定者も50人～100人から当面30人程度、将来的に50人程度になります。

また、閉会中の継続調査は、(1)アグリリサイクルセンターについて、(2)産業振興について、(3)特産品の開発についての3項目としました。



質問者/  
上野の三よじ議員

# 「コテージむら」これからどう進める

## 町長／重点課題として新知事に要請

**上野議員** コテージむらプロジェクト計画の進捗状況と強化振興策は。

**町長** 農業公社が分譲開始した10区画のうち3区画の申し込みを受けたと聞いている。また、交流促進、担い手育成、定住促進、多目的の4エリアを町、県、公社、地元NPOの4者が事業に携わっている。町は加工施設、体験農園、広場の整備やヒマワリなど植栽し環境づくりに努めてきた。今年は生態系保全空間（ビオトープ）整備を行う。県主導事業の早急かつ継続的な実施を新知事に重点課題として要請したい。

### 農業生産の落ち込み起因は

**上野議員** 町農林業基本計画を策定し、年度別に行動計画をつくり取り組んでいるが実績が上がらず生産額が落ち込んでいる。農協などとの指導連携が図られているか。

**町長** 価格低迷や担い手減少、高齢化、市場原理の影響により、目標値の一部下方修正が必要だ。基本計画の見直しはあり得る。新農業政策に取り組み、農協、関係機関と一層連携を深め目標実現を図りたい。

### 公害防止協定なぜできない

**上野議員** 九十九沢地内の産業廃棄物最終処分場の利用状況と立入り検査の指摘事項は。また公害防止協定を未だ締結していない理由は何か。

**町長** 県に同行し立入り検査した。特に指摘はなかったが毎年6月末に実績報告が提出される。その際も県と連携して立入り検査を実施する。住人の健康保護と生活環境保全のため早期に環境保全協定を締結したい。



7月19日市町村要望活動でコテージむらを訪れた達増知事(右から2人目)





質問者 /  
いしがめ みつぎ  
石亀 貢議員

## 国保事業の広域化を

### 町長 / 近隣自治体と連携、積極的に対応

**石亀議員** 自立したまちづくりを進めていくには、効果的、効率的な行政運営が望まれる。このことから、国保事業の広域化を他の自治体と連携して推進する考えはないか。

**町長** 国の「医療制度改革大綱」に沿って、医療費適正化の総合的な推進、高齢者制度の創設、保険者の再編、統合等所要の措置を講ずるとされている。

国民健康保険は都道府県単位を軸とした保険者再編、統合を進め、保険財政の基盤の安定を図り医療機関制度の一元化を目指し、県単位での保険運営を推進するため、保険財政の安定化と保険料平準化を促進する観点から市町村の拠出金により医療費を賄う共同事業の拡充を図り、保険者支援制度等の国保財政基盤強化策も総合的に見直しが進められている。今後、町としても、

近隣自治体と連携し、広域化に向け積極的に対応したいと考えている。

#### 火災報知器の設置について

**石亀議員** 平成16年に改正された消防法では、住宅用火災報知器の設置が義務付けられた。本町での公営住宅の取り付け戸数や費用、国からの財政補的な制度は、どのような状況となっているか。

**町長** 新築住宅は、平成18年6月から適用となり既存住宅の適用は、盛岡地区広域行政事務組合火災予防条例によって、平成23年5月31日までに設置することになっている。

町営住宅12戸分は、新築時火災報知器を設置する。既存の8団地229戸は、現在の試算で227万6千円の費用が見込まれ、平成23年度までに地域住宅交付金など国の財政補助を活用し計画的に設置したい。



火災報知器の設置を呼びかける紹介コーナー（零石分署）



**伊藤議員** 今度の同僚議員の不祥事に対して、本当に町民の方々は怒りを感じていると思う。

本町の国勢調査を見ても完全失業者が急増しているのが実態で、平成17年度512人であったが、5年前と比べ1.3倍に膨れ上がっている。10年前と比較すると1.9倍増と言われている。この内で15歳から34歳までの若者の失業者は本町では238名との調査結果であり、さらに非正規雇用が拡大され不安定な生活となっているが当局はどの様に受けとめているのか。

**町長** 雇用の場の確保のため、雫石町外の経済圏の中に盛岡等も含め総体的に図っていく必要がある。また、誘致企業等中で働く場の確保、新規の雇用の場の確保、雫石町に合った自然環境と調和のとれた雇用の場の確保のため新規にふさわしい企業誘致に努めていきたい。

#### 福祉問題について

**伊藤議員** 本町の人口は低下し高齢者社会になり少子化対策の一環として子育て支援として、乳幼児就学前まで医療費無料化を実施について見解を伺いたい。

**町長** 低所得者の方々、非課税の方々、3歳までは全額給付を入院の場合は1カ月5000円、外来の場合は1500円まで負担してもらい、さらに助成制度について実施しているところである。



グループで仕事に関するクイズを解きながら心構えを学んだ2007雫石町新社会人フォローアップセミナーの様子

## 失業と雇用対策は



質問者/  
伊藤哲夫議員

## 町長/環境に調和する企業の誘致を





質問者 /  
やちよしかず  
谷地善和議員

## 「頑張る地方応援プログラム」への対応は

### 町長 / 8月までに選定し取り組む

**谷地議員** これは市町村が魅力ある地方に生まれ変わるよう独自のプロジェクトを住民に公表し、総務省に応募するものである。

単年度3千万円を限度として、3年間プロジェクトに取り組むための経費について「特別交付税措置」がある。

9つの成果指標で「普通交付税」の算定にも反映される。

プロジェクトについては何でもいいと聞いているが、「頑張る地方応援プログラム」について町長はどのように受け止めておられるか。また、雫石町総合計画には平成22年度のみinnで目指す目標と目標値があるので、どうせやるからにはこの「頑張る地方応援プログラム」を利用したほうが、地方交付税にもはね返ってまいりますので一石二鳥という感じがする。

町として、この「頑張る地方応援プログラム」に取り組む考えがないか。

**町長** 「頑張る地方応援プログラム」に対してプロジェクトチームを立ち上げ取り組む考えは、現時点ではないが、このプログラムが、単独事業だけではなく補助事業も対象となること、また、新規のプロジェクト

トだけではなく既存のプロジェクトも対象となることから、第2次募集期間である本年度の8月までには、本町独自のプロジェクトを選定し、取り組んでまいりたいと考えている。

しかしながら、この地方分権の時代に、市町村が自ら考えて実行できることに、相変わらず国の関与のもと、国が定めた成果指標で全国画一的に地域再生を行うのだという中央集権的な考えがこのプログラムにもうかがわれる。

そもそも地方交付税は、地方固有の財源であり、国の政策誘導の役割を持たせるべきものではない。

このようなことから、総務省の考え方には賛成できるものではないが、厳しい財政状況の中、財源確保という観点から、プロジェクトを選定し取り組みたい。



平成22年度までのまちづくりの指針をまとめている雫石町総合計画後期基本計画書

# 町道雫石環状線の整備促進を



質問者/  
すざきさわとしあき  
杉澤敏明議員

## 町長 / 県道昇格要望を継続し安全対策も

**杉澤議員** 雫石町の南玄関口の路線として、広域的な交流を担っている町道雫石環状線の当町から矢巾町に越える区間は、冬期間でも安全に通行できるように早急に整備促進に努めていくべきだと思うが、この区間の整備促進にどのように取り組んでいるのか。

**町長** 本路線は、広域的な役割を担っていることから、岩手県に対し矢巾町と合同で、県道昇格について引き続き要望していく。

**杉澤議員** 特に危険な箇所については、町として、早急に改修が必要ではないか。

**町長** 現状で危険な箇所、隘路あいろ区間については、矢巾町と協議しながら安全対策を講じていく。

### 御所湖広域公園町場地区の整備等について

**杉澤議員** 御所湖広域公園町場地区（矢櫃川流域も含む）は、いまだに放置状態となっているが、当町の観光振興の視点はもとより、地域住民の生活の視点からも早急に整備をしてもらうべきだと思うが、この整備促進にどう取り組んでいるのか。

また、北上川上流流域下水道鶯宿幹線を併せて整備することにより、この地区の多様な土地活用が可能になると思うが、今後の整備促進をどう進めていくのか。

**町長** 町場地区園地として、休憩所、体験学習室、園地を管理する「サービスセンター」、様々なイベントに利用できる「イベント広場」、住民参加による花畑づくりを進める「成長の花畑」、グラウンドゴルフやピクニックに利用できる「川原の広場」等を今後5年間で整備する方針が示されている。

北上川上流流域下水道鶯宿幹線については、平成23年までに町場地区まで整備を行う計画であり、町場園地の整備についても、その供用に合わせて事業を進めると聞いている。私としても県にその整備促進について、積極的に働きかけていく。



整備が遅れている御所湖広域公園の町場地区







質問者 /  
かとうますみ  
加藤真純議員

# 定住促進に関する条例の制定は 町長 / 本年度中に指針を

**加藤議員** 「住んでいてよかった、移り住んでよかった、ずっと住み続けたい町」をさらに元気にするには、ある程度人口増が必要と考えるが、「定住促進に関する条例」の制定は。

**町長** 本年度中に町の定住促進対策の指針を策定し、交流人口拡大と併せながら定住促進対策に取り組む。

**加藤議員** 休耕田や空家等の情報を提供し、就農あっせんを積極的に進めないか。

**町長** 10a 特区認定を受け新規就農支援チームを設置し対応している。情報提供は農業委員会主体で進める。

**加藤議員** 定住促進のため企業誘致は必要だが、それには人間と動植物の命の保護が最優先されるべきと考える。企業誘致の基本方針は。

**町長** 高度な技術を持ち、かつ自然に負荷をかけない地域の特性を活かした企業誘致と、地域資源を生かした内発的産業起こしの2本立てで推進し、地域の資源を地元で循環させることに重点をおく。

**加藤議員** 定住促進を多方面からサポートしている施策の「透明性」「公平性」「一貫性」を保つため条例が必要ではないか。

**町長** 今年度中にガイドライン策定、広く意見を募り合意を得られれば条例へと進めたい。

## 地球温暖化防止について

**加藤議員** 本町の地球温暖化防止の具体策は。

**町長** 環境基本計画の個別計画として「雫石町地球温暖化対策地域推進計画」の策定も視野に入れ、県の二酸化炭素排出量8%削減の取り組みを推進していく。

**加藤議員** 温暖化防止は自然環境保護でもある。人や動植物の命を大切にし、100年後の子供たちが豊かな心で雫石の自然を享受できるよう行動し、その輪を広げたい。

**町長** 全ての思いは同じ。動植物を保護しながら、産業活動等と共生するよう知恵を出し合い進める。



休日を利用し地球温暖化防止の一環として矢用簡易水道施設内に植樹した樹木の下刈り作業を行う町管理職たち

# 中心商店街活性化対策は



質問者/  
大村昭東議員

## 町長 / 温泉宿泊客を街なかへの集客を拡大

**大村議員** 中心商店街の停滞対策、観光ビジョンとの連携強化をどう進めているか。

**町長** 軽トラ市など街なかイベント、商工会内に設置された零石まちづくり会社（仮称）、多機能複合施設の整備などで活性化を図るほか、宿泊施設との連携で集客の拡大と、オリジナル商品やお土産品の開発を支援する。

**大村議員** 常に人が集まるような温泉利用の休養・福祉・交流基地の整備を研究してはどうか。

**町長** 温泉地と商工会のみならず、TMO、観光協会、行政ともあわせた対応を考えねばと思っている。

### 政策評価について

**大村議員** 町民本位、住民視点、町民目線という仕事のやり方は定着しているか。

**町長** 職員の意識改革や組織風土の改革、業務遂行の能力向上が必要であり、協働の町づくりを進めるためにも、今後とも鋭意取り組む。

**大村議員** 役場の仕事のグループ化はわかりづらいがどうか。

**町長** 組織のグループ化により課内の情報共有や相互連携が図られる体制であり、プラスの効果が出られていると考えている。

### 農業・農村振興について

**大村議員** 10年後、15年後の町農業の振興策は。

**町長** 国の農業動向や施策に対応できるよう、農林業基本計画を見直し対応する。

**大村議員** 一次産業、二次産業、三次産業を一つの輪に結びつける、新しく開発された加工保存技術を、農畜産物の付加価値を開発するという面からも、もっと真剣に考えるべきではないか。

**農林課長** 大変夢のあるテーマであり、江戸時代の豆腐百珍などについて、関係機関と協議検討する。

**大村議員** 農林地域の生活環境整備をどうする考えか。

**農林課長** 新たな事業等が見込まれるのであれば、新しい事業の導入を進めたい。



今年も賑わいを見せるしずくいし軽トラック市(写真は6月3日)

一般質問

# クロスアップ アップ

改選後の新議員を今回からシリーズで紹介します。議席番号の大きい20番と小さい1番の2名の議員が議員活動の抱負を語ります。

## 二つの力を 行政に届けたい

平子 忠雄 議長  
(62歳・農業・無所属)



孫と一緒に夫婦で出席した結婚式の記念写真から

私の活動理念は、本町が有する自然や景観が育む「癒す力」を今後とも次代に受け継ぐよう努力したいと考えています。また、本町の風土や歴史、文化、産業などを通じて培われた連帯意識を「地域力」としてとらえ守っていくことが今、大切です。二つの「力」をバランスよくまちづくりに生かされるよう頑張りたいと思います。

### プロフィール

昭和62年5月初当選以来、現在6期目。議会広報編集委員、産業建設常任委員長、議会運営委員長などを歴任。平成11年に副議長、平成14年から2年間議長に就任する。また、平成19年5月第21代目として2度目の議長職。和野行政区在住。趣味は釣り、読書など。「自然体」を信条とする。

## この町をもっと 幸せにしたい

加藤 眞純 議員  
(57歳・会社顧問・無所属)



昭和56年ポルトガル滞在中に訪れたローマ市内でのスナップ  
(本人は前列左の背広姿)

私の思いは、「住んでいてよかった」「移り住んでよかった」「これからもずっと住み続けたい」ともっと思える町に、この町を「もっと幸せにしたい」。そして、動植物の命を大切にする心と豊かな自然を100年後の子供たちへバトンタッチしていくことです。

### プロフィール

今回初当選。両親介護のため35年ぶりにUターンし本年9月で丸4年。三井化学で国内外にプラント等を設計・建設、海外技術者の教育、海外滞在、電気主任技術者等。電気・公害防止等20数種の資格有り。Uターン後は会社の人事顧問、技術顧問、県地球温暖化防止推進員等の環境関係のボランティア等で活動。籬野行政区在住





# 議会の傍聴から見たもの 皆さんの声を聞きました



すずき ゆたか  
鈴木 豊さん  
(52歳・晴山行政区)



よねざわいくこ  
米澤生子さん  
(47歳・矢用行政区)



よしだ いさむ  
吉田 勇さん  
(62歳・天瀬行政区)

## 今の町政に 思うこと

## もっと町外への 魅力発信を！

盛岡から移り住んで2年目の新米町民から見た雫石ですが、まず、JR等、盛岡までの交通アクセスが良い割に地価は高くなく、温泉やスキー場などの観光資源が豊富で自然景観に恵まれていること。

また、引っ越してきた平成17年は記録的な大雪でしたが、除雪がきれいで早いこと。

仕事柄、福祉関係に目が向きますが、社会福祉協議会活動が盛んなこと。県内でも早期に地域福祉計画が作られていることなど福祉先進町だということ。

特に晴山地区がそうなのかも知れませんが、町内会活動が盛んで地域の絆が強いことなどです。

魅力満載の雫石町について、町、議会を挙げ、これまで以上に町外への情報発信に努め、流入（転入）人口の拡大に結びつけていただきたいと思います。

「キラリ輝く雫石」の未来のため、日々頑張っている町民の代表である議員の方々の一般質問を傍聴させていただきました。町民の方々の清き一票があったから、この場で発言が出来るのだ、と自覚してほしいです。4年の任期で、自分が掲げたマニフェストを出来るだけ実行してほしいと思います。

これから、ますます少子高齢化が進み、町政も大変だと思いますが、雫石の特徴を生かし、内外にアピールして若い人たちが定住できるような町になってほしいと思います。

私をはじめ、同年代の人達にも選挙や議会にもっと関心を持ち、参加していきたいと思っています。安心して子育てができて、安全に生活できる町になってほしいです。

## 議会に 望むこと

町議会議員定数削減後、最初の定例会が平成19年6月8日招集され論戦が始まった。新人議員の登壇もあり爽やかさを感じました。今後4年間の活発な議会運営と町民目線での議員活動を願い、一人の町民として身近な事として、注視したいと思っています。

「教育と農業は百年の体系」と良く言われますが、まさにその通りだと思います。議会は、過去を検証し・現在を認識し・英智と深い議論の結果として、自立を目指す「街」づくりと町の未来の方向を、議会の立場で誰にでも分かるような形で、示して頂きたいと考えています。

議会の傍聴と議会だよりは、町民と議会(議員)をつなぐ架け橋だと思います。議会と町の動きなどを積極的に取り上げることと、普段議会傍聴のできない町民のためにも、会議開催日および開会時間の変更なども視野に、ますますの改革と改善を望みます。

## ふるさとへの便り— 28



しもかわら たかお  
在京雫石町友会会員 下川原孝雄

昔

と

今

昭和34年春、ふるさと雫石を後に九州福岡県甘木市に就職してから早いもので48年になりました。国土調査の測量をしながら九州から北海道まで、冬は南国へ夏は北国へ桜の花とほぼ同じく全国を周りました。岩手県の現場は花巻で測量をしました。その場所場所でも親切にして頂きましたが一番困った事は言葉でした。私は雫石弁、相手は九州、津軽弁でなかなか通じませんでした。昭和44年、2人で始めたので二葉測量として独立し現在に至っております。役所発注の測量、一般の測量、補償コンサルタント業、登記の仕事を主に業としています。この職種も全般に渡り器械やコンピュータが発達し老いた私はなかなかついて行けません。昔は巻尺、今はレーザー光線により2から3キロメートル測定をする事が出来ます。測定データはコンピュータに接続すると、計算は元より色のついた図面が出て来ます。人工衛星によるGPSの測量や世界測地系の座標となりました。登記所（法務局）の登記の関係作業も変わり東京に居ながら雫石での登記や証明書の受領も出来る様になりました（オンライン庁）。しかしながら昔と違い個人情報の関係もあり仕事もしくなくなったのも事実です。

高校まで雫石で育てていただきありがたく思っております。思えば田植えの時の中休みに食べたごちそう、さなぶり、稲刈り、稲こぎ、家の中に稲を詰め込み朝から脱穀、兄貴たちが劇団を創り秋祭りに参加していたこと、思いだせばたくさんあります。宮沢賢治の「雨ニモマケズ」とか、石川啄木の「ふるさとの山はありがたきかな」等ふるさとを思う時、浮かんでまいります。NHKの朝の連続テレビ小説「どんど晴れ」にも小岩井農場が映りなつかしく思っています。ふるさと納税が話題となっており、参加したいと思っております。

最後にふるさと雫石のますますのご発展を祈念いたします。「ふるさと雫石どんど晴れ」



趣味のトレッキング(山歩き)で訪れた長野県上高地でのスナップ写真

下川原孝雄 プロフィール  
昭和15年生まれ 御明神上野、下川原出身  
東京都町田市在住  
二葉測量設計株式会社 役員  
株式会社二葉登記事務所 役員

子どもたちから町議会はどんな仕事をしたり、どんな仕組みになっているのか質問が寄せられることがあります。そこで議会の仕組みについて子どもたちに分かるような議会のしくみについてシリーズで解説しています。ご家族で一緒にご覧ください。

## 議会事務局の仕事は？

もっと住みやすいまちにするためには、町民みんなが集まって話し合い、どんなことをしていくのかを決めて、行動していければよいのですが、現実にはこのようにするのはとても難しいことです。ですから、町民の中から選挙で代表者を選び、自分たちの代わりに話し合い、決定するという大事な仕事をしてもらっています。この代表者が町長と町議会議員です。議会事務局は、定例議会や臨時議会の際に会議が円滑に進むようにするのが主な仕事です。そのほかにも、会議結果の作成、議会だよりの編集、議長の日程調整などを業務として行っています。

## 議会の話題を紹介します

### 編集委員も新体制になりました

5月11日の臨時会では、議会広報編集特別委員会を設ける議員発議が可決され、新しいメンバーで議会だよりを編集することになりました。委員長は上野三四二議員、副委員長は谷地善和議員です。2年間7人の委員が議会活動を分かりやすく紹介できるよう努力いたしますので、よろしくをお願いいたします。



編集委員の紹介（左から）加藤眞純委員、村田厚生委員、石山仁委員、上野三四二委員長、谷地善和副委員長、杉澤敏明委員、川口一男委員

今号の表紙 / 今号から本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたします。「笑顔が絶えないまち」を目指して取り組んでいる皆さんを紹介していきます。今回は御所保育所に通う元気な園児たち、町の将来を担う明るい笑顔です。

## 議会の主な動き 4～7月

- 4月 25日 町防犯交通安全協会連合会総会
- 5月 3日 早起き野球大会開会式  
11日 第3回議会臨時会  
15日 政務調査会
- 17日 - 18日 岩手郡町村議会議長会総会  
19日 雫石中体育祭・町国際交流協会総会  
28日 新議員研修会  
29日 議会運営委員会
- 6月 1日 駒ヶ岳山開き  
3日 しずくしい軽トラック市
- 4日 - 5日 八幡平山系に係る直轄砂防事業期成同盟会要望活動
- 8日 - 14日 6月議会定例会  
15日 政務調査会  
16日 第29回在京町友会  
17日 町消防操法等競技会・岩手駐屯地創立50周年記念式典  
19日 優良納税表彰式  
21日 極楽野地区営農飲雑用水施設通水式
- 27日 - 29日 教育民生常任委員会行政視察  
28日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会総会
- 7月 1日 岩手山山開き・町消防演習  
4日 八幡平山系直轄砂防期成同盟会総会・新知事歓迎会
- 10日 - 12日 総務常任委員会行政視察  
13日 政務調査会  
24日 第54回郡町村議会議員大会

## 情報公開

### 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】  
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(4月～6月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
4	0件	-	9件	4万8千円
5	0件	-	10件	5万1千円
6	0件	-	4件	1万6千円
小計 (4月～6月)	-		11万5千円	
年間総計 (1月～6月)	2万円		18万6千円	

### 編集デスク

良く足の向くまま旅歩きすることがある。

先日、青森県某町の個別経営の集落観光農園を視察ができた。何時もであれば高速度を忙しくとんぼ返りするところであるが、帰路少々遠回りであったが東北の国文化財指定の崇高な寺院に立寄った。

梅雨の季節とは思えない猛暑日。ところが苔生し古木鬱蒼とした長い階段の参道を踏みしめて行くとき小鳥のさえずりさえずりの、聴こえるのは自分の足音だけ。しばらくの間、静寂洗心の時を過ごすことができた。

当議会も改革が進み、新たに審判を受けた議員で組織編成がされた。

どことなく地につかない雰囲気が続いているが、議会人としてやるべきことを緊張感をもって期待に応えなければならぬ。

広報を担当する委員も任期2年間研さんを積み、見やすく納得のいく紙面づくりに励みたい。

(編集委員長 上野三四二)